



19年度決算の概要



10万2千市民の家計簿

薩摩川内市の平成19年度決算概要をお知らせいたします。

薩摩川内市の平成19年度決算概要をお知らせします。
平成19年度の一般会計及び特別会計の決算は、歳入歳出差引25億7,723万円の残額を生じ、翌年度に繰り越す財源7億676万円を控除すると、実質収支は18億7,047万円となりました。

また、一般会計の市債残高は548億2,175万円と前年

度に比べ39億1,118万円のマイナスとなりましたが、昨年に引き続きまだ多くの市債残高の圧縮が必要な状況です。

今後も、市政改革大綱及び改革アクションプランの着実な実施により、一層の行財政改革の推進に努めます。

平成19年度実施した主な投資的事業

- 土地区画整理事業
(天辰第一地区、川内駅周辺地区、入来温泉場地区)
- 道路整備事業
(一般道路整備事業、林道整備事業)
- 下水道事業
(公共下水道事業、小型合併処理浄化槽設置補助)
- 公営住宅建設事業
(公営住宅ストック総合改善事業)
- 近代教育設備導入事業
(教育用パソコン購入)
- 水泳プール建設事業
(八幡小学校プール改築工事)

■ 平成19年度実質収支

	一般会計	特別会計
歳入	468億3,112万円	397億1,040万円
歳出	451億7,137万円	387億9,292万円
差引	16億5,975万円	9億1,748万円
翌年度へ繰り越す財源	3億6,255万円	3億4,421万円
実質収支	12億9,720万円	5億7,327万円

● 「翌年度に繰り越す財源」とは？

平成19年度に事業を完了できず、平成20年度へ実施を繰り越した事業の財源です。

● 「実質収支」とは？

歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越す財源を差し引いた額です。実質収支は、平成20年度において繰越金として新たな事業などの財源となります。

市有財産の現在高（平成19年度末）

山林	7,785万4,769.03㎡ (84万5,446㎡増)
山林以外の土地	1,674万6,635.31㎡ (11万4,732.88㎡増)
建物	64万1,437.40㎡ (5,316.03㎡減)
有価証券	1億 257万7千円 (4,250万円減)
出資による権利	2億1,425万5千円 (117万円増)
債権	9億8,057万7千円 (1,641万2千円増)
基金	134億 765万6千円 (2億8,348万2千円増)

※ () は平成18年度末との比較増減

■ 市債（市の借入金）の現在高

● 一般会計

土木債	223億1,894万円
臨時財政対策債	110億5,456万円
農林水産業債	69億8,265万円
教育債	37億7,247万円
減税補てん債	34億2,621万円
総務債	14億3,375万円
衛生債	12億7,367万円
商工債	10億5,962万円
消防債	8億9,345万円
民生債	8億8,266万円
災害復旧債	4億1,927万円
臨時税収補てん債	4億1,283万円
公営企業出資債	3億5,692万円
減収補てん債	3億4,507万円
臨時財政特例債	1億6,727万円
労働債	2,241万円
一般会計 合計	548億2,175万円 ①

● 特別会計

公共下水道事業	55億2,786万円
天辰第一地区土地区画整理事業	37億3,708万円
簡易水道事業	26億1,965万円
農業集落排水事業	21億9,874万円
川内駅周辺地区土地区画整理事業	12億 19万円
漁業集落排水事業	5億4,427万円
入来温泉場地区土地区画整理事業	4億7,487万円
国民健康保険直営診療施設助定	2億9,125万円
公共用地先行取得等事業	1億 540万円
浄化槽事業	5,485万円
国民健康保険事業	4,861万円
介護サービス事業	3,454万円
温泉給湯事業	2,407万円
老人保健医療事業	0円
介護保険事業	0円
特別会計 合計	168億6,138万円 ②

● 公営企業会計

水道事業	59億8,906万円
自動車運送事業	50万円
工業用水道事業	0万円
公営企業会計 合計	59億8,956万円 ③

● 全会計の市債残額合計 (①+②+③)

全会計市債残高 合計	776億7,269万円
------------	-------------

市民一人当たりの市債残高 76万3,721円

前年度	前年度比較
全会計市債残高 818億2,067万円	△41億4,798万円
市民一人当市債残高 79万9,053円	△3万5,332円